

1学年便い 7月

No4 H23.7.4

1学期期末考査が終わり、いよいよ7月です。7月はみんなが一丸となって取り組める高校野球の応援があったり、心と体をリフレッシュさせたり、いろいろなことに挑戦できたりする夏休みが始まるなど、楽しみもたくさんあります。また、保護者面談・課外授業も実施されます。課外授業は必ず受けなければなりません。夏休みの計画をたてる際には注意して下さい。

今年の1学期終業式は7月27日(水)・2学期始業式は8月29日(月)ですので、間違わないようにしてください。

7月の行事予定

- | | |
|--------|-------------------|
| 1日(金) | 期末考査・全校集会(頭髪) |
| 6日(水) | 防災訓練 野球応援練習(5・6h) |
| 13日(水) | 小論答練 野球応援練習(3・4h) |
| 19日(火) | 午前中授業・午後保護者面談 |
| 22日(金) | 午前中授業・午後保護者面談 |
| 25日(月) | 午前中授業・午後保護者面談 |
| 26日(火) | 午前中授業・午後保護者面談 |
| 27日(水) | 終業式 |



6組教育実習生 渡邊卓弥君

8月の行事予定

- | | |
|--------|------------------|
| 1日(月) | 成績不振者課外 |
| 3日(水) | 成績不振者課外 |
| 13日(土) | 本校舎施錠 |
| 15日(月) | 本校舎施錠 |
| 17日(水) | 夏季課外 |
| 25日(木) | 夏季課外 |
| 26日(金) | A・Bコース 進路マップ模擬試験 |
| 29日(月) | 始業式 |



5組教育実習生 内田しほさん

ライオンズクラブ講演会報告(5月20日)

中間考査最終日に 境野勝悟先生の演題「日本の心の教育」として、東洋思想の知識と教育実践を踏まえて、日本人が培ってきたものを高校生にも分かり易く、軽妙に講演されました。会場には、一般の方やPTA会員の方も来場され先生も雰囲気を知り、時間を延長して熱演していただきました。

先生の東洋思想の学問に精通し、教育の実践家でもあり、その深淵なる泉のよう湧き出る話を聴くことができ、一人一人の受け止め方は異なっても心の奥底に届いたことと思います。



芸術鑑賞報告(6月2日)

今年の芸術鑑賞会は大震災の影響で日立市民会館が使用できない都合上、本校体育館で6月2日行われました。

青年劇場による「キュリー×キュリー」でした。



あらすじは パリ物理化学学校の講師ピエール・キュリーは、金儲けにも異性にも目をくれず科学の探求に邁進する純粋な研究者。ストーブ用の石炭も満足に支給されない実験室で、同僚のビクロとともに日夜「お金にならない研究」に明け暮れている。

しかし校長シュッツの頭にあるのは、科学アカデミーの勲章と、儲けを産む実用的な研究だけ。ある時、業をにやしたシュッツ氏はピエールたちに告げる。「ひとつ、一ヶ月以内にアカデミーに公式発表できる研究成果をあげる。ひとつ、ポーランドから来た若い女子学生を助手として迎え入れること」が条件であった。

黒いドレスに黒の帽子、ひつつめのまげといういかめしい姿で現れたその女性は、マリー・スクロドフスカ。科学の研究を続けるため、ロシアに支配された祖国を逃れはるばるパリまでやってきた彼女こそ、のちのマリー・キュリーです。

おんぼろの実験室に、小さくともけつして消えることのない光が灯る。苦しい研究生活の中、ピエールとマリーは、かけがえのない絆で結ばれていく…。金銭的な窮乏、不穏な社会情勢、アカデミー権力者たちの無理解、他の科学者からの厳しい批判を乗り越えて二人は研究を続け、「放射能」と呼ばれる不思議な性質を持つ金属「ラジウム」を発見する。

教育実習生感想



5月23日からの3週間、瀬谷貴光先生御指導の下、芸術科・書道の1学年と1年6組のSHRを担当させていただきました。母校でないということもあり、1週目は明秀の各教室の場所を把握することで精一杯だったのですが、諸先生方や同期の実習生、生徒たちに励まされながらなんとか実習を終えることが出来ました。担当授業では伝えたいことが多すぎて、まとまった授業にはならなかったことは残念でしたが、楽しく学ぶことが出来、見識が広がりました。(1年6組、芸術科・書道担当 渡邊卓弥)



私は、5月23日からの3週間、筑波先生、萬場先生の御指導の下、1年5組のHRと1年生から3年生までの保健体育の担当を行いました。実習が始まる前までは、生徒と打ち解けられるか、授業はきちんと出来るか、不安な気持ちでいっぱいでした。でも、実際に実習が始まってみると、たくさんの先生方が優しく私たちを迎えてくださり、生徒たちも「先生、先生」と呼んでくれて、不安な気持ちもすぐなくなりました。

実習に来て改めて思ったことが、人と人とのコミュニケーションはとても大切であり、関わるきっかけになると思いました。

研究授業に関しては、研究不足な点が多く、指導教官の先生の先生方にたくさんのご迷惑をかけてしまったりしたけれど、たくさん御指導していただき教えることの大変さと、それ以上に教える楽しさを実感できました。

私は、教員を目指しているので、教育実習に来て本当に良かったと心から思いました。3週間ありがとうございました。(1年5組、保健体育科担当 内田しほ)

進路講演会報告 (6月15日)



講師は駒澤大学教授 小川 隆先生でした。演題は「ことばを学ぶ 世界を学ぶ」で講演をしていただきました。

内容は中国哲学の専門家である小川先生が様々な国の文化を紹介しながら、日本の文化の違いや理解の違いについて説明していただきました。その中で、我々が当たり前のことと思っていたことが必ずしも当たり前ではなく、逆に失礼なことになることもわかりました。学問は人生を楽しくさせる一つのツールだと教えてくれました。楽しい講演をありがとうございました。

教育相談のごあんない

お子さんのことをいっしょに考えましょう!



茨城県教育研修センターでは、お子さんのすこやかな成長と発達を願って、さまざまな内容の相談をお受けしています。

悩みや心配事をもつお子さん、保護者、教職員が対象です。

※相談内容の秘密は、かたく守ります。相談の費用は無料です。

Q 相談するにはどうすればいいの?

A 相談の方法は電話相談と来所相談があります。ひとりでも心配しないで、何でもご相談下さい!

- 電話相談は、電話だけでも相談できます。匿名でも結構です。
- 来所相談は、茨城県教育研修センターに来ていただき、相談します。来所相談は予約制です。電話でお申し込み下さい。

Q 問い合わせはどこにすればいいの?

A 子どもの教育相談(教育相談課) 電話(0296)78-2333

発達に気になる子どもの教育相談(特別支援教育課) 電話(0296)78-2777

受付時間 月～金曜日の9時～16時30分

相談する内容で迷ったときには、どちらの電話でも受け付けています。

茨城県教育研修センター
〒309-1722 茨城県常陸市平町1410 <http://www.center.bk.ed.jp/>

こんなことが気になっていませんか?

- 子どもの教育相談
- ◆学校に登校できない
 - ◆集団生活が苦手である
 - ◆いじめを受けている
 - ◆学業や進路で悩んでいる

- 発達に気になる子どもの教育相談
- ◆発育・発達に遅れの疑いがある
 - ◆指示や話の内容が理解できない
 - ◆発音や話し方がはっきりしない
 - ◆手や足の動かし方がごちない

このほかにも、多様な相談に応じています。

専門医による心の健康相談 ※相談の費用は無料です。

「子どもの教育相談」「発達に気になる子どもの教育相談」の中で、必要に応じて専門医による指導・助言を受けることができます。

遊遊室

いろいろな遊びを通して、情緒の安定や自己表現を図ります。ボールプール、ままごとセット、ゲーム、ぬいぐるみなどがあり、幼児や小学校低学年の児童も楽しく過ごせます。

検査器具

心理・発達検査を通して、発達の様子をつかみ、よりよいかわり方や支援のためのてがかりをつかむことができるよう援助します。

茨城県教育研修センター場所のご案内

センターまでの主な交通機関

- JR常陸郡常陸大宮駅 水戸線徒歩10分
- 北関東自動車道茨城IC 自動車10分
- 常陸自動車道水戸IC 自動車10分
- 常陸自動車道台町IC 自動車10分